

## 観察した鳥類チェックリスト

- |             |            |           |           |
|-------------|------------|-----------|-----------|
| ★キジ目        | ★ツル目       | ★ハヤブサ目    | □ ツグミ     |
| ・キジ科        | □ クイナ      | ・ハヤブサ科    | □ ジョウビタキ  |
| □ キジ        | □ パン       | □ チョウゲンボウ | ・スズメ科     |
| ★カモ目        | □ オオバン     | □ ハヤブサ    | □ スズメ     |
| ・カモ科        | ★チドリ目      | ★スズメ目     | ・セキレイ科    |
| □ オカヨシガモ    | ・チドリ科      | ・モズ科      | □ キセキレイ   |
| □ ヨシガモ      | □ タゲリ      | □ モズ      | □ ハクセキレイ  |
| □ ヒドリガモ     | □ ムナグロ     | ・カラス科     | □ セグロセキレイ |
| □ マガモ       | □ コチドリ     | □ カケス     | □ タヒバリ    |
| □ カルガモ      | ・セイタカシギ科   | □ オナガ     | ・アトリ科     |
| □ ハシビロガモ    | □ セイタカシギ   | □ ハシボソガラス | □ カワラヒワ   |
| □ オナガガモ     | ・シギ科       | □ ハシブトガラス | □ アトリ     |
| □ コガモ       | □ タシギ      | ・シジュウカラ科  | □ ウソ      |
| □ ホシハジロ     | □ イソシギ     | □ ヤマガラ    | □ シメ      |
| □ キンクロハジロ   | ・タマシギ科     | □ シジュウカラ  | □ コイカル    |
| □ ミコアイサ     | □ タマシギ     | ・ヒバリ科     | ・ホオジロ科    |
| ★カイツブリ目     | ・カモメ科      | □ ヒバリ     | □ ホオジロ    |
| ・カイツブリ科     | □ ユリカモメ    | ツバメ科      | □ カシラダカ   |
| □ カイツブリ     | □ セグロカモメ   | □ ツバメ     | □ アオジ     |
| □ カンムリカイツブリ | □ オオセグロカモメ | ・ヒヨドリ科    | □ オオジュリン  |
| □ ミミカイツブリ   | ★タカ目       | □ ヒヨドリ    | □         |
| □ ハジロカイツブリ  | ・ミサゴ科      | ・ウグイス科    | □         |
| ★ハト目        | □ ミサゴ      | □ ウグイス    | □         |
| ・ハト科        | ・タカ科       | ・エナガ科     | □         |
| □ キジバト      | □ トビ       | □ エナガ     | □         |
| ★カツオドリ目     | □ チュウヒ     | ・メジロ科     | □         |
| □ カワウ       | □ ツミ       | □ メジロ     | (外来種や家禽)  |
| ★ペリカン目      | □ ハイタカ     | ・ヨシキリ科    | □ コブハクチョウ |
| ・サギ科        | □ オオタカ     | □ オオヨシキリ  | □ バリケン    |
| □ ヨシゴイ      | □ ノスリ      | ・セッカ科     | □ ガチョウ    |
| □ ゴイサギ      | ★ブッポウソウ目   | □ セッカ     | □ アヒル     |
| □ アマサギ      | ・カワセミ科     | ・ムクドリ科    | □ ドバト     |
| □ アオサギ      | □ カワセミ     | □ ムクドリ    |           |
| □ ダイサギ      | ★キツツキ目     | ・ヒタキ科     |           |
| □ チュウサギ     | ・キツツキ科     | □ シロハラ    |           |
| □ コサギ       | □ コゲラ      | □ アカハラ    |           |

鳥の博物館手賀沼定例観察会

【5月のテーマ】

鳥の子育て

案内人：弘貴さと子、伊東茂子(鳥の博物館市民スタッフ)

5



▲ヒナへ与えるための餌(セグロシャチホコの幼虫)を運ぶシジュウカラ。

今年も博物館周辺では鳥の子育ての季節が到来しました。繁殖期は、鳥にとっては1年間の行動スケジュールの中で最も大切な時期です。子孫を残すためにパートナー探しからヒナの自立までの間、鳥たちはさまざまな行動を見せてくれます。

今回は、手賀沼遊歩道を歩きながら、鳥の子育ての様子を観察してみましょう。どのような行動が見られるのでしょうか。

2017年5月13日(土)

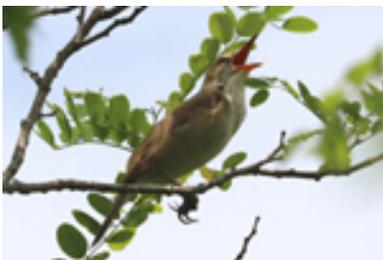
てがたんは毎月第2土曜日午前10時から \*連絡先 我孫子市鳥の博物館 電話04-7185-2212

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

## 繁殖行動を観察してみよう

てがたんコースで見られる鳥の繁殖行動を観察してみましょう。

さえずり



オオヨシキリ

相互羽繕い



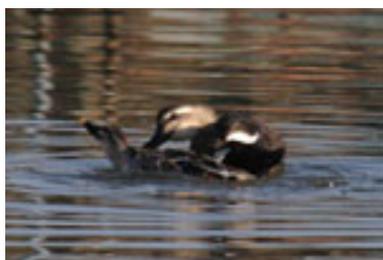
キジバト

巢材運び



スズメ

交尾



カルガモ

抱卵



コブハクチョウ

給餌



カイツブリ

## 鳥の卵とヒナ

### 鳥の卵いろいろ

卵の形や色、模様など、特徴は種によって異なります。

赤い卵



ウグイスの卵

青い卵



ムクドリの卵

斑がある卵



ヒヨドリの卵

斑が無い卵



キジの卵

### ヒナの成長

ヒナの成長のタイプは、早成性と晩成性の2つに大きく分けられます。

#### 早成性

羽毛が生え揃った状態で孵化します。  
孵化してからすぐに歩くことができます。



カルガモのヒナ

#### 晩成性

羽毛が生えないまま孵化します。  
孵化直後は動くことができません。



スズメのヒナ